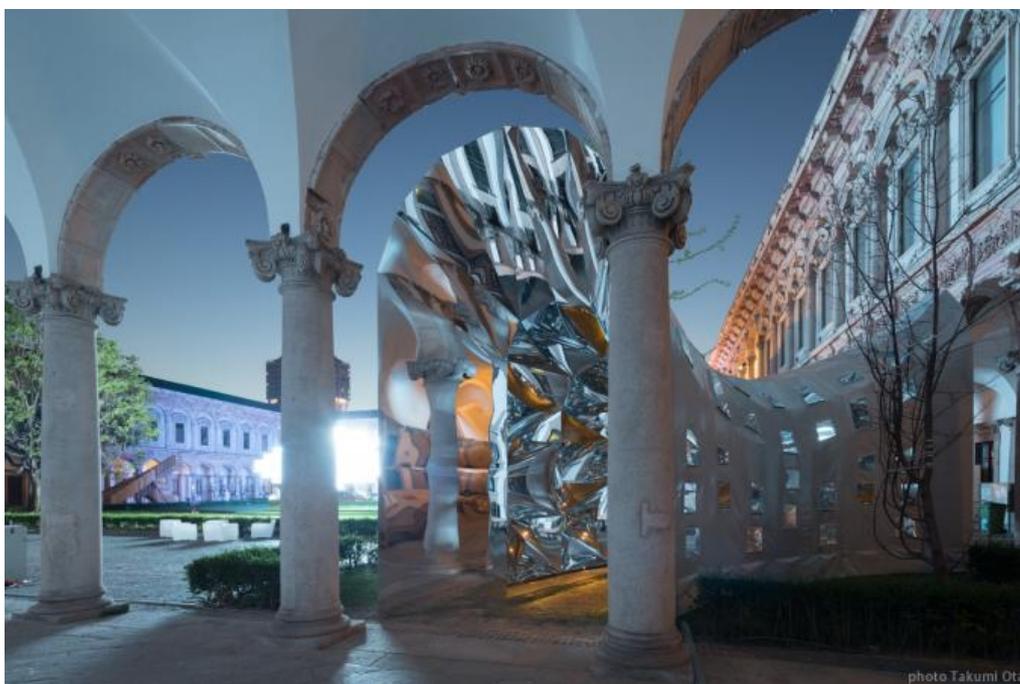


“窓”の魅力と可能性を東京ミッドタウンから発信！
YKK AP「窓研究所」主催 「窓学“WINDOWSCAPE”展」
2014年5月31日（土）スタート

YKK AP株式会社（社長：堀 秀充、本社：東京都千代田区、資本金：100 億円）の「窓研究所（所長：山本 絹子）」は、“窓”を学問として多角的に探求する研究活動「窓学」の成果を国内で初めて発表する場として、2014年5月31日（土）より、東京ミッドタウン・デザインハブで「窓学“WINDOWSCAPE”展 ～窓の研究プロセスからミラノサローネまで～」を主催します。



ミラノサローネに出展したインスタレーション“Kaleido-window”（外観写真）

窓を考える会社、YKK APが2007年より取り組む「窓学」は、窓に特化した独自の研究活動です。窓を歴史的、文化的に位置づけると同時に、その意味や役割を見極め、窓の新たな魅力や可能性を提示することで、よりよい建築、都市、社会の構築に貢献することを目指して活動しています。

今回主催する「窓学“WINDOWSCAPE”展」は、国内では初めての「窓学」研究展示です。東京工業大学 塚本研究室とYKK APの約7年にわたる共同研究成果を、豊富な資料とエピソードを交えて紹介します。また、本展示は、今年4月に行われた世界最大規模のデザインの祭典「ミラノサローネ」で発表した“WINDOWSCAPE”展の帰国展も兼ねており、多くの来場者を魅了したアトリエ・ワン設計の窓のインスタレーション（空間展示）や現地での模様を、模型や記録映像などにより紹介します。さらに、会期中は、窓に関する講演やトークセッション、ワークショップを多数開催します。

窓研究所は、「窓学“WINDOWSCAPE”展」を皮切りに、窓学での研究成果を広める活動を推進するとともに、今後も窓の文化的価値向上を目指し、窓の魅力と可能性を積極的に社会に向けて発信してまいります。

※ WINDOWSCAPE（ウィンドウスケープ）とは、「窓景」を意味する造語です。

<「窓学“WINDOWSCAPE”展 ～窓の研究プロセスからミラノサローネまで～」開催概要>

■**展覧会タイトル**

東京ミッドタウン・デザインハブ特別展

「窓学“WINDOWSCAPE”展 ～窓の研究プロセスからミラノサローネまで～」

■**会場**

東京ミッドタウン・デザインハブ ミッドタウン・タワー5F

(住所 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー5F)

■**開催期間**

2014年5月31日(土)～6月15日(日) 11:00-19:00 (入場無料)

■**展覧会の構成**

①**展示コンテンツ**

「窓のふるまい学」「窓の街並学」「窓の系譜学」をテーマに、東京工業大学 塚本由晴研究室が世界約30カ国で採取した窓の写真、図面、スケッチ等の豊富な資料を、フィールドワークのプロセスや調査エピソードとともに公開します。

また、今年4月にイタリア・ミラノで行われた世界最大規模のデザインの祭典「ミラノサローネ」に出展した“WINDOWSCAPE”展において、塚本由晴氏率いる建築家ユニット、アトリエ・ワンが設計した窓のインスタレーション(空間展示)や、「窓学」研究成果の展示、現地での模様も併せて紹介します。



【ミラノサローネ “WINDOWSCAPE” 展の様子】



**インスタレーション“Kaleido-window”
(内観写真)**

約60もの鏡面仕上げの窓からなる幻想的な空間。このインパクトのある窓の空間展示は会場でも人気となり、連日、記念写真を撮る多くの来場者で賑わいました。子供から大人まで、無意識のうちに窓に惹きつけられ覗き込んでしまう。多くの人が窓の世界を体感し、窓の力を再発見しました。

帰国展では、この展示の模様を模型や図面、映像等で紹介します。



「窓学」研究展示風景(写真)

ミラノサローネでは、「窓学」研究成果から、世界の窓の写真と図面資料をポスターとして展示し、持ち帰れる仕掛けにしたところ、用意した約4万枚の窓のポスターは早々になくなりました。このポスターによる研究展示は、帰国展でも一部再現します。来場者はミラノと同じ美しい窓のポスターを実際にお持ち帰りいただけます。部屋に貼れば、そこに、新たな窓が生まれます。

②窓のトークセッション&ワークショップ

多彩なフィールドの最前線で活躍する方々を迎え、下記の通り、窓に関するトークセッションとワークショップを多数開催します。

5月31日(土) 17:00-19:00 (定員 100名、当日先着順、無料)

トークセッション① 『窓とアート』

登壇者：五十嵐太郎 (東北大学大学院教授、建築批評家)
保坂健二郎 (東京国立近代美術館主任研究員)
鎌田友介 (アーティスト)

6月7日(土) 17:00-19:00 (定員 100名、当日先着順、無料)

トークセッション② 『窓のフィールドワーク』

登壇者：能作文徳 (東京工業大学助教、建築家)
金野千恵 (KONNO 代表、日本工業大学助教、建築家)
川勝真一 (RAD ディレクター、リサーチャー)

6月14日(土) 17:00-19:00 (定員 100名、当日先着順、無料)

トークセッション③ 『窓を語る』

登壇者：塚本由晴 (東京工業大学大学院准教授、アトリエ・ワン)
佐藤浩司 (国立民族学博物館准教授、建築人類学者)
中谷礼仁 (早稲田大学教授、歴史工学研究)

6月1日(日) 10:00-17:00 (各回先着 20名、事前申込制、参加費無料)

6月7日(土) 10:00-16:00

ワークショップ 『窓のフィールドワーク (実践編)』

[概要] 東京の街を歩きながら魅力的な“窓”を採取します。参加者が見つけたサンプルから“窓”の魅力を伝えるドローイングを作成します。講師らが世界中で行ってきたフィールドワークを、東京を舞台に体験できるワークショップです。

[講師] 能作文徳、金野千恵

※「窓学」とは

YKK APは「窓は文明であり、文化である」という思想のもと、窓に特化した独自の調査研究「窓学」に取り組んでいます。2007年からスタートしたこの活動をさらに推進する目的で、2013年には「窓研究所」を設立。窓文化創造に向けて、窓の専門知識を収集・保存し、その魅力や新しい可能性を社会へと発信・提言しています。今回の企画展示の他、窓学での研究成果は一部、書籍化されています。

YKK AP 窓研究所ホームページ：<http://www.ykkap.co.jp/madoken/>

※東京工業大学 塚本由晴研究室

アトリエ・ワンの塚本由晴氏は、教鞭を執る東京工業大学塚本研究室において建築設計、学術論文、都市リサーチなどの幅広い教育活動を行っています。『ペットアーキテクチャー・ガイドブック』『メイド・イン・トーキョー』などリサーチをまとめた著作の他、『ガエ・ハウス』『みやしたこうえん』『東京工業大学 環境エネルギーイノベーション棟』などの建築作品があります。YKK APとの共同研究「窓学」の関連書籍は、2010年『WindowScape 窓のふるまい学』(フィルムアート社)があり、本年2月には待望の第二弾『WindowScape2 窓と街並の系譜学』(フィルムアート社)が出版されました。

< 報道関係者からのお問い合わせ先 >

YKK AP株式会社
広報室 長沼・法月 (のりづき)
TEL : 03-3864-2321 FAX : 03-3864-2290
E-mail : k_ykkap@ykkap.co.jp